川崎アゼリア地下街防災推進計画（概要）

平成２７年７月 川崎アゼリア㈱

資料３

■基本方針

〇誰もが安全で安心できる公共地下歩道の確保を図ります。
〇店舗等への来街者（滞在者）の安全確保を図ります。
〇災害時に帰宅困難者へ的確に情報を提供します。

天井補強や情報伝達施設の整備を行うなど、防災力の強化を図り、川崎駅周辺で最大の収容人員となる一時滞在施設としての機能を充実させ、誰もが安心して訪れることのできる地下街を目指します。

■防災力向上の取組内容　（下線は国と市の補助を活用して平成２７年度実施予定

１．建築物の安全対策強化

- 避難出入口部の天井補強・補修
  エアーカーテン設置場所５箇所
- 毎年の天井点検の継続、点検履歴の保管
- 漏水、変形箇所の確認・補修
- 階段部蓄光材の設置

２．避難啓発活動の強化

- 階段が利用できない場合を想定した避難誘導訓練の実施
- 避難誘導担当社員（テナント含む）等への教育・啓発活動の継続実施
- 避難検討結果等を共有する協議会の開催と避難誘導の充実
- １０店会会議での情報共有

３．混乱抑制のための情報伝達

- 非常時活用できるデジタルサイネージ(6 台)の設置
- 外国人等の災害弱者への対応（案内看板等）
- Wi-Fi アクセスポイントの増設（全域）
- 川崎区役所、駅、一時滞在施設との簡易無線機による情報共有
- 災害伝言ダイヤル等の活用についての広報（訓練時等）

４．一時滞在施設の内容充実

- 避難誘導ピクトサインの設置
- 外国人等の災害弱者への対応（多言語案内板等）
- スーパー、コンビニ等へ備蓄品提供等の協力依頼
- 災害救援自販機（3 箇所）設置と今後の増設検討
- 災害時特設公衆電話（6 箇所）の設置
- 非常用発電源設備の容量増強

災害救援自動販売機設置

災害時特設公衆電話利用

デジタルサイネージ設置（通常時⇒災害時）

出入口部エアーカーテン吊り部補強

階段部の蓄光材と避難誘導ピクトサインの設置

非常用電源設備の容量増強